

平成21年 5月28日  
独立行政法人  
日本原子力研究開発機構  
敦賀本部

高速増殖原型炉もんじゅの屋外排気ダクト補修工事の完了  
及びプラント確認試験の再開について（お知らせ）

高速増殖原型炉もんじゅ（定格出力28.0万kW）においては、平成20年9月9日に原子炉補助建物の屋上に設置している排気ダクト<sup>※1</sup>に腐食孔（横約2cm、縦約1cm）を確認しました。【平成20年9月9日お知らせ済み】

これを受け、屋外排気ダクトの状況調査及び原因調査を行い、原因と対策をとりまとめ、平成21年1月9日に原子力安全・保安院に報告いたしました。併せて、地元自治体にも報告いたしました。【平成21年1月9日お知らせ済み】

屋外排気ダクト補修工事については、平成21年2月20日に設計及び工事の方法の変更認可を国より受領し、2月23日から準備作業、3月9日から補修工事を実施していましたが、使用前検査を受検し、この度、5月27日に本補修工事<sup>※2</sup>が完了しましたので、本日、地元自治体に報告いたしました。

本補修工事が完了したことに伴い、中断していたプラント確認試験（燃料交換を含む）を再開し、8月末に完了することを目指して安全を最優先に取り組んでまいります。

なお、もんじゅの運転再開工程については、国の耐震安全性評価に関する審議状況等を踏まえ、関係省庁とも十分に協議した上で定めてまいります。

※1：管理区域の排気を排気筒に導くダクト

※2：補修工事の概要

- ・腐食が確認された箇所のうち、厚さが4mm未満の範囲については、内面から当て板をすみ肉溶接で取付け（105枚）
- ・屋外排気ダクトと補強材とのすき間についてはFRP材で、屋外排気ダクトと支持架構とのすき間についてはコーキング材により雨水浸入防止措置を実施（合計約580m）
- ・その他

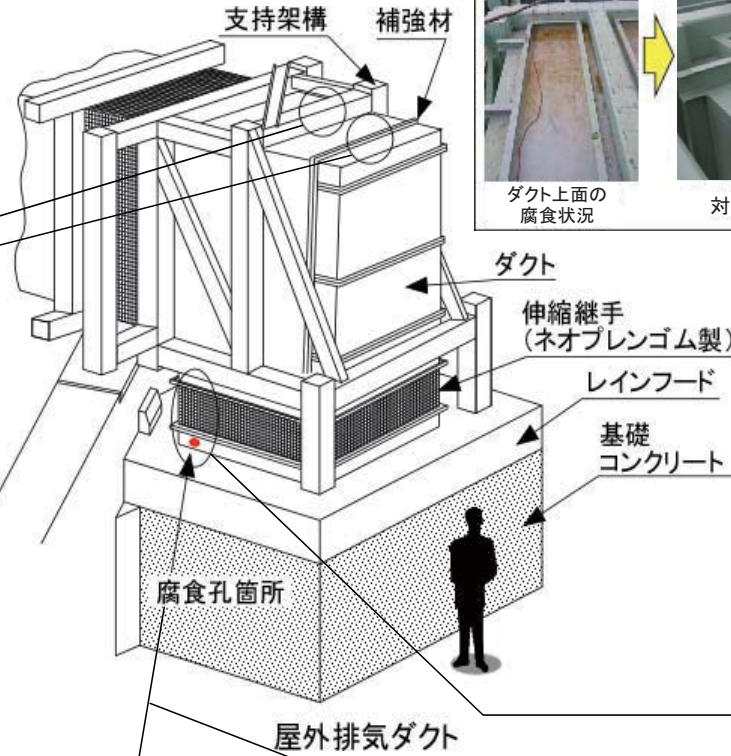
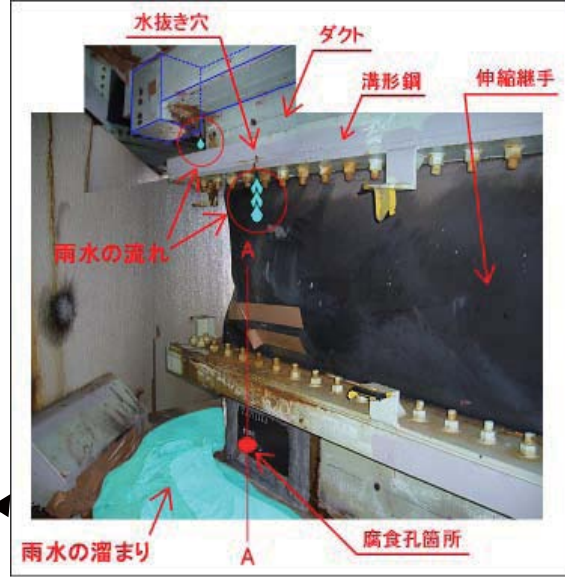
恒久対策を実施するまでの間は、3ヶ月を超えない期間ごとに肉厚を測定

添付資料：・「もんじゅ」屋外排気ダクト補修工事完了について（原因と対策）  
・「もんじゅ」プラント確認試験等工程表

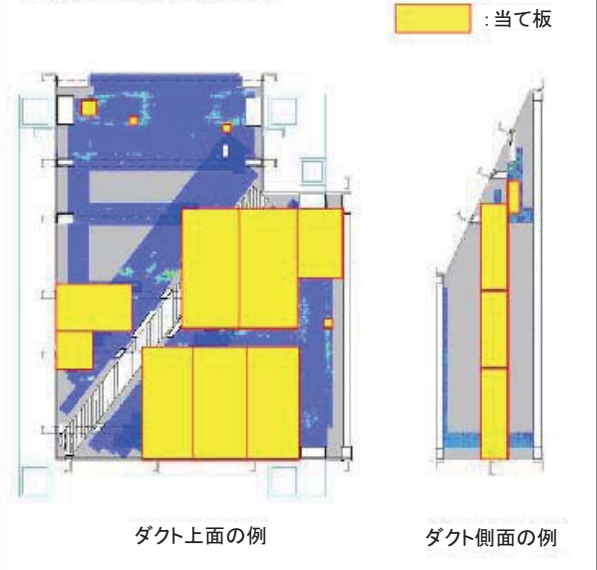
以上

# 「もんじゅ」屋外排気ダクト補修工事完了について(原因と対策)

腐食の例

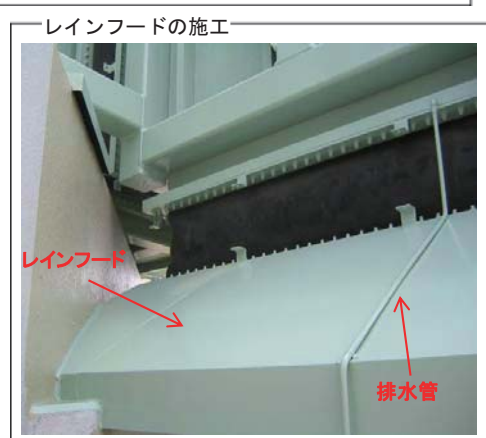
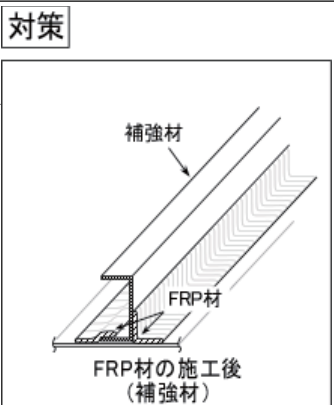
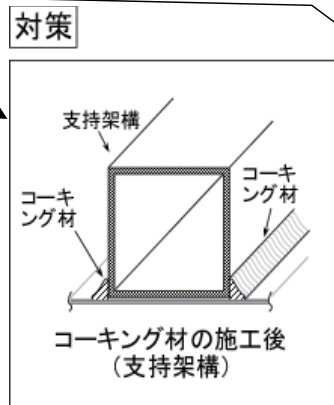
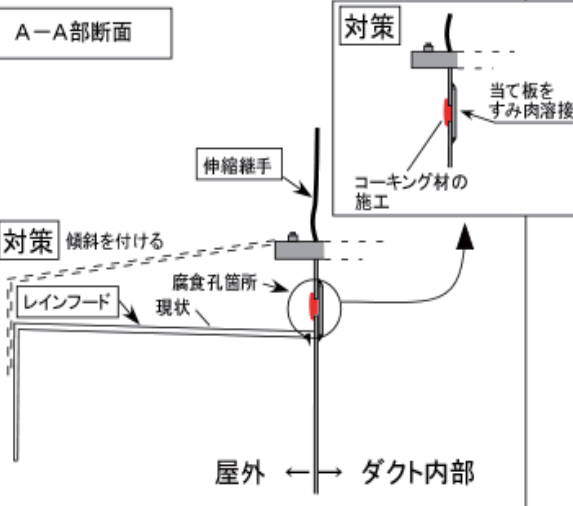


当て板による補修箇所の例



腐食孔部の当て板補修(すみ肉溶接)

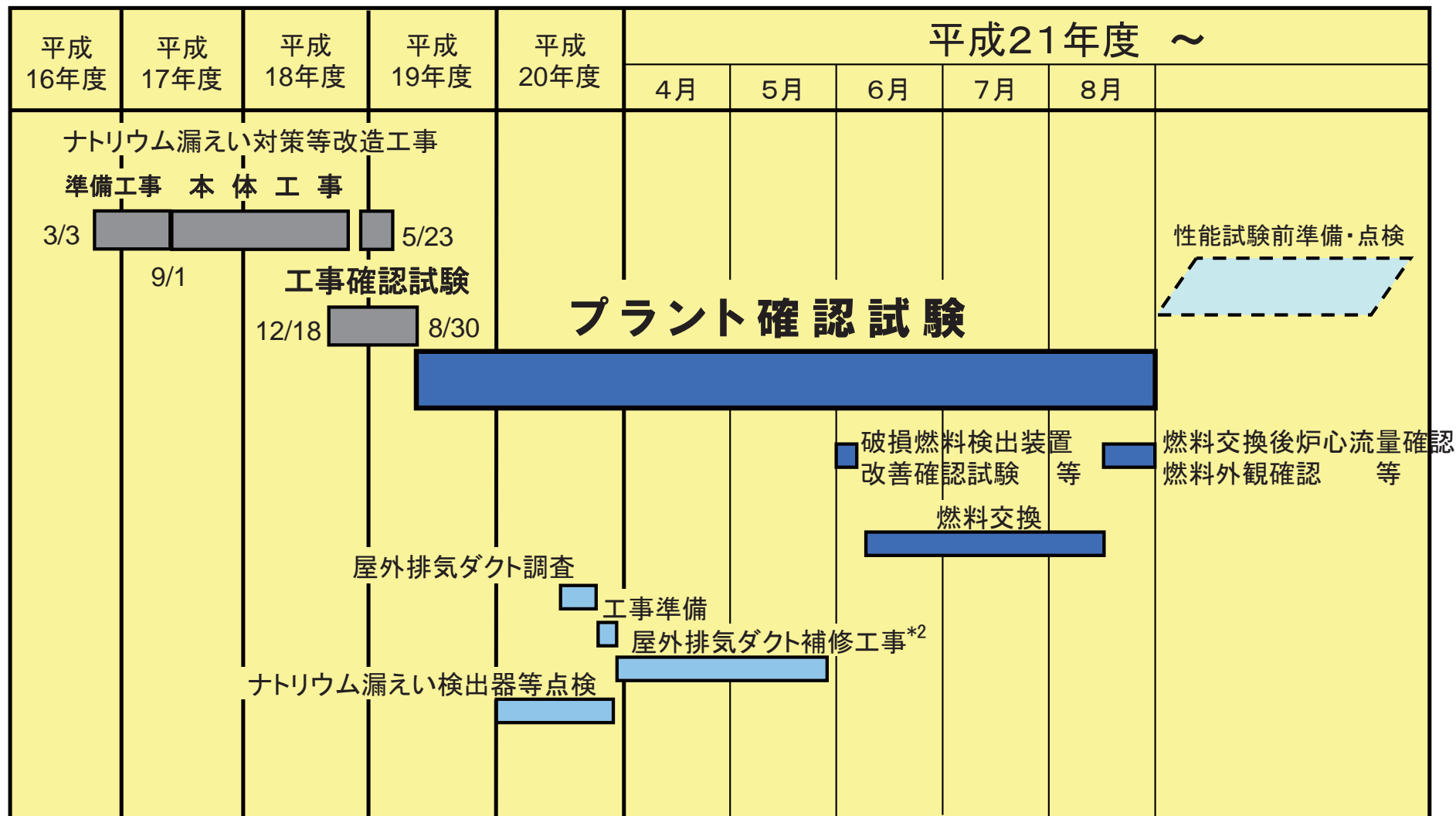
腐食孔部の当て板補修(コーキング材の施工)



# 「もんじゅ」プラント確認試験等工程表

平成21年5月現在

運転再開(臨界)工程については、関係省庁とも十分に協議\*1した上で定めてまいります。



運転再開は、地元のご理解を得て進めてまいります。

\*1 長期停止機器・設備の点検、耐震安全性の取り組み等の進捗状況を踏まえ、協議を行います。

\*2 長期的な観点から出力運転を開始する40%出力プラント確認試験前までに、当該ダクトの全面取替えを実施します。